

「目録」  
 戦争の機械的側面からユーラシアの歴史を辿る(藤原史朗)「集団的暴力と戦争」  
 岡山大学文学部歴史学研究室  
 (連絡先:岡山大学文学部歴史学研究室 rick@history.u-oyama.ac.jp)

ヒトの進化の奥深くに埋め込まれた戦争のルーツ  
 暴力を発火させ、また鎮める礎石としてのコミュニケーション  
 考古資料にそれをどう読みとるか？  
 「戦争の考古学」の新しい地平を開く

SYMPOSIUM  
**コミュニケーションと戦争**

DATE: 2023年2月18日(土)  
 VENUE: 岡山大学文明動思想学研究所 + Zoomウェビナー  
 申し込みはこちらからお申込み下さい。 <https://x.gd/MzMKq>

QRコード

TIMETABLE

10:00-10:10 総論 武蔵  
 開題挨拶「なぜ、コミュニケーションと戦争か？」

10:10-10:50 寺前 直人  
 「新・武器」をめぐるコミュニケーションと戦争時代の戦争

10:50-11:30 橋本 達也  
 アメソリストーションとしての古墳築造と武器具用神  
 -古墳時代の戦乱と戦争の関係をみる-

11:30-12:10 渡部 轟哉  
 戦争の協同と競争 古代アンダスの事例から

13:20-14:00 比嘉 夏子  
 文化変遷かつ身体実践としての「戦いの語り」-狩猟シブの事例から-

14:00-14:40 橋本 肇一郎  
 古代マヤにおけるコミュニケーションとしての戦争

14:40-16:20 斎藤 伸典  
 集団アイデンティティの協力・攻撃行動

16:30-17:30 ディスカッション

CUT OF EURASIA  
 岡山大学  
 RIDC  
 岡山大学

PHOTO: 150-7277 武蔵 渡部 轟哉

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

086-251-7442

---

---

086-251-8463

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---